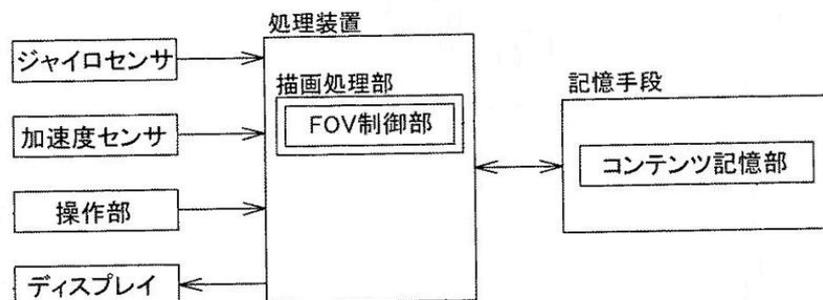


発明の名称	治療支援システムおよび治療支援プログラム		
出願人/権利人	株式会社PsychicVRLab、医療法人光恵会	発明者	山口 征浩、松村 雅代、島田 光、荒木 健治
出願日	平成30年12月11日	出願番号	2018-232027
公開番号	2020-95125	特許番号	6630911
法的状態	登録中		

代表図



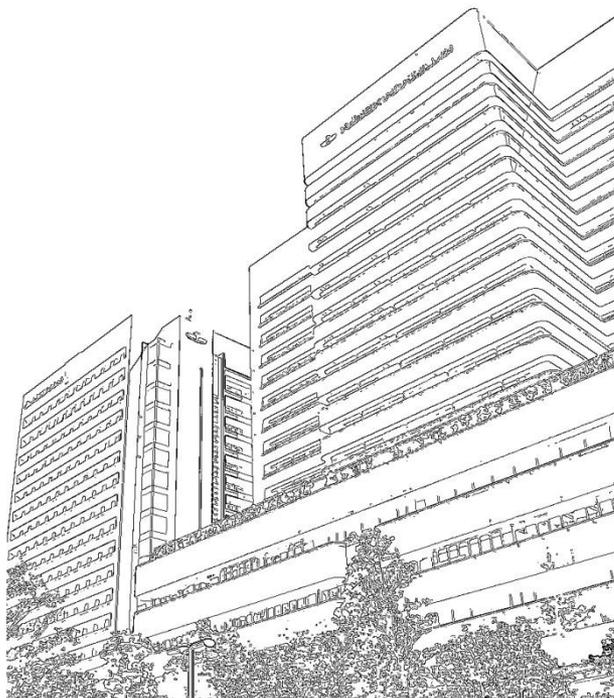
発明の概要

痛みの感覚やマイナス思考などを低減させ、治療を促進させる治療支援システム

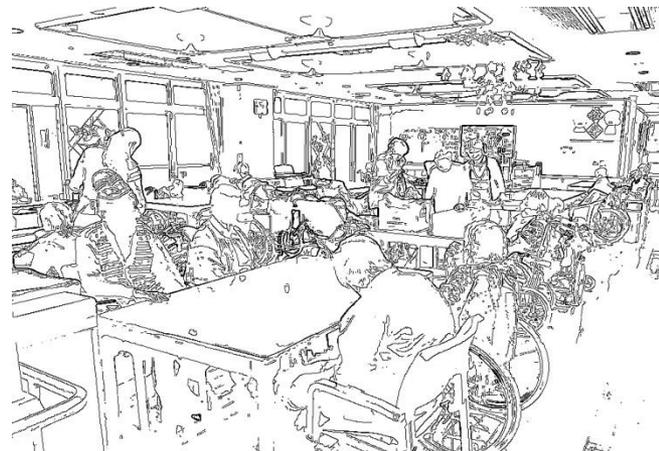
特徴

本発明はVR(バーチャルリアリティ)ヘッドマウントディスプレイに関する。仮想現実空間における映像コンテンツを頭部に装着する表示器により提供するにあたり、再生する映像のFOV(Field of view)を小さくなるように制御する。これにより、VRの視界が頭部の表示器の動きに対してより敏感になる。装着しているユーザは、目標画像を正しく見るために頭を動かさないように集中することが強いられる。映像コンテンツの内容にかかわらず、意識が映像により強く誘導・集中し、痛み等の感覚やマイナス思考などの思考、感情が低減する。小児歯科などで、治療を促進させられる。

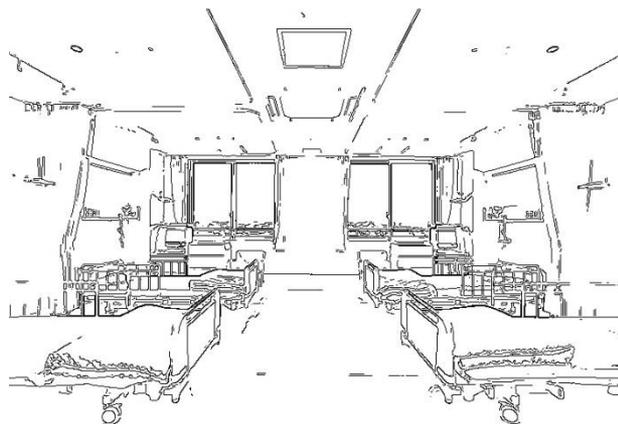
応用の可能性



大学医学部



介護施設、老人ホーム



病院



クリニック

など

応用の可能性

- ・大学医学部
- ・病院
- ・介護施設、老人ホーム
- ・クリニック
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・大阪大学医学部
- ・大阪市立大学医学部
- ・近畿大学医学部
- ・神戸大学医学部
- ・北野病院
- ・加納総合病院
- ・大阪脳神経外科病院
- ・あづま脳神経外科リハビリクリニック
- ・福島脳外科クリニック
- など

株式会社PsychicVRLabおよび医療法人光恵会の本発明に関する最新動向

- ・株式会社PsychicVRLabのホームページ(<https://psychic-vr-lab.com/>)には、本件特許に関連する情報は見受けられない。
- ・医療法人光恵会のホームページ(<https://koukeikai.net/>)には、本件特許に関連する情報は見受けられない。